



## 1 第2学期が終了

8月19日から始まった第2学期が12月24日をもって終了しました。ただでさえ長い2学期ですが、今年は、夏休みを短縮しての2学期でしたので、さらに長いものになりました。

その2学期の間に、感染症対策を徹底的に講じて体育大会、合唱コンクール、校内駅伝大会と生徒にとっては節目となる大きな行事を実施することができました。

しかし、国内ではなかなか収束に向かう兆しは見えず、残すところあと一つになった8年生の修学旅行をどうするのか、毎日報道を見ながら熟慮している毎日です。

### 《終業式での校長挨拶》

おはようございます。

ここ最近、急に冷え込みが厳しくなり体調を崩す人も出てきていますが、今日は第2学期の終業式を迎えました。リスクレベルが5となり、警戒警報が発出されていますので、リモートの式になりました。

さて、2学期は学校の1年の中で、一番長い学期です。特に今年は、8月19日からスタートしました。半袖の8月から、雪がちらつきマフラーが必要なこの12月まで、いろいろな出来事があり、その中で皆さんは成長してきたことと思います。

先日、今年を象徴する漢字は「密」であるということが発表されました。密といえは、よく三密と言われました。

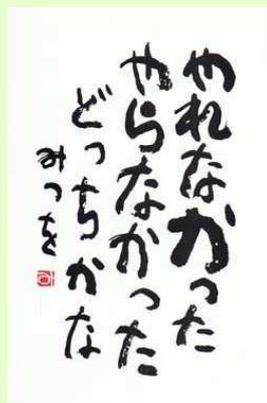
そう、「密閉」「密集」「密接」のことですね。英語圏では、3Cと言われているそうです。

closed spaces  
crowded places  
close-contact

日本でも、英語圏でも3つで合い言葉表現するんだなあと、感心したところです。

さて、本題に入ります。校長室前の廊下に、天井からぶら下げている看板があります。

これは、11月頃からそうしていますが気づいていたと思います。そこに、校長先生もいつも自分に問いかけている言葉を掲示しています。



これです。

大人も子どもも、時間があつたらやりたいとか、機会があつたらやりたいとか思うことの一つや二つはあるでしょう。

しかし、いろんな理由をつけて、「やらなかった」と言いがちです。そして、後になって、後悔することは多いものです。

その時思うのは、「あのときしておけば良かった。」です。

今の状況と重ねてみてください。いつもできていたことが、したくても、やりたくてもできないのです。

体育大会で、組体操をしたくてもできませんでしたね。

思いっきり声を出して合唱の練習をしたくても、制限されましたね。

ランチルームで全員そろって給食を食べたくても、9年生には我慢してもらいましたね。

中体連の大会や、吹奏楽コンクールに燃えたくても、不完全燃焼で終わりましたね。

いつもできていたことができないという、苦しみは嫌というほど味わっています。ですから、今一度、自分に問うてください。

「やらなかった やらなかった どっちかな」と。本当にやりたくてもやれないことはあるのです。

しかし、やる前からあきらめて、やらなかったことをやらなかったと言い訳している君！君の生き方は、それでいいか？

この冬休み、何をしなければならぬか？目標はあるか？やるのかやらないのか？こんな時だからこそ、以前からやってみたかったことにチャレンジしてみるチャンスかと思えます。人生の中でこのような期間は2度と訪れないかもしれません。与えられた時間をのんびりするのでもいいですが、そればかりではもったいないですよ。

自分が本当にやりたいこと、自分にとってやったほうがいいことをみつけて「やりました！！」と言える君になってください。

おわります！

※校長室だより「凌駕」は、カラー版で本校ホームページでも見ることができます。

<https://jh.higo.ed.jp/oguni/>